

「日本の慣例・習慣」から1年の「はじめ」へ 若年主婦の大掃除への「おもい」と実態

生活者研究センター
研究員 伊藤 公江

生活者研究センターでは、家事に関する調査を継続的に実施しています。その中で35歳以下の若年主婦*に注目してみたところ、家事は家族が仲良く過ごすための手段であり、家の中をキレイにすることは、居心地を良くするために重要だと捉えていることがわかりました。本レポートでは、ベテラン主婦*との比較から見えてきた、若年主婦の大掃除に対する「おもい」と実態について報告します。

*若年主婦:20～35才 既婚女性 ベテラン主婦:56～69才 既婚女性 と本レポートでは定義

トピックス

- 普段の掃除の頻度は低下、やり方はライト化
- 大掃除の実施日数は少なめ、実施率や「がんばった感」は高い
- 普段の掃除は軽く、年末に「まとめて・すっきり」がいまどきのスタイル
- 変化する大掃除の理由。普段の掃除の不足分を補う重要な機会に

【調査概要】

「若年主婦の大掃除へのおもいと実態」

調査期間：2014年1月

調査方法：インターネット調査

調査対象：首都圏在住20～60代既婚女性

回答者数：1,000人

調査期間：2014年3月

調査方法：家庭訪問インタビュー調査

調査対象：20～60代既婚女性

対象者数：8人

■ 普段の掃除の頻度は低下、やり方はライト化

1週間の掃除の平均回数を場所別に比較すると、リビングは、ベテラン主婦3.8回に対し、若年主婦が4.1回と、ベテランをやや上回っていました。しかし、キッチン、ベテランが5.1回に対し若年は4.0回、トイレは3.2回に対し2.3回と、若年主婦の方が頻度が少なくなっていました(図1)。ベテランでは「隅々まで」「見えなところほど」に対し、若年は「目立つ汚れがなければいい」と、掃除の視点に違いが見られました。掃除のやり方も、若年主婦は水拭きだけで、拭き方もささっと軽く済ませる傾向でした。このような傾向が、大掃除にどのような影響を及ぼすのかを調べました。

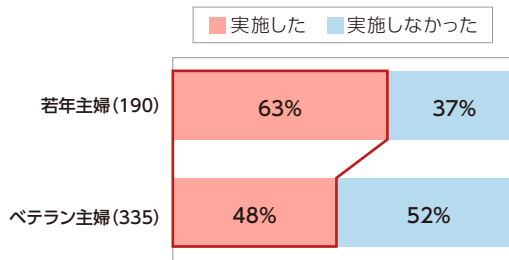
1週間の平均回数	リビング	キッチン	トイレ
若年主婦(181)	4.1回	4.0回	2.3回
ベテラン主婦(308)	3.8回	5.1回	3.2回

(各場所の直近1週間の掃除実施者ベース)
首都圏在住20～60代既婚女性 1,000人(花王調べ)

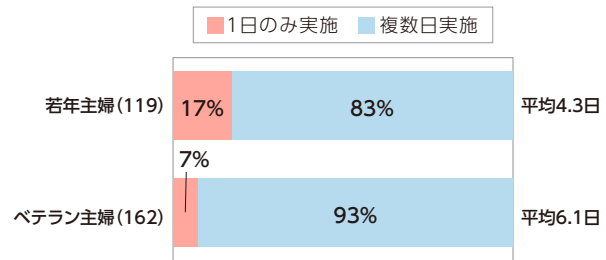
(図1) 普段の掃除回数

大掃除の実施日数は少なめ、 実施率や「がんばった感」は高い

2013年の年末の大掃除の実施率は、ベテラン主婦の48%に対し、若年主婦は63%と高いことがわかりました(図2)。実施日数は、1日だけで済ませる割合が、若年のほうが10ポイント高く、平均実施日数でも、ベテランが6.1日、若年は4.3日と、若年は少ない日数で済ませる傾向にありました(図3)。



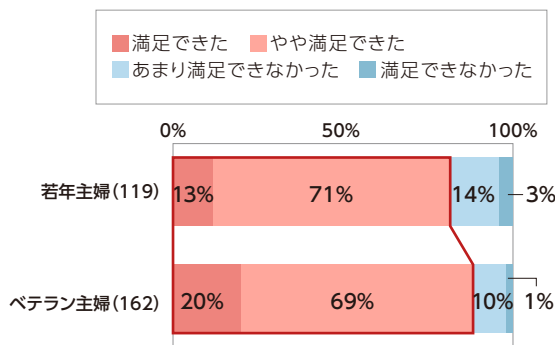
(図2) 大掃除の実施率



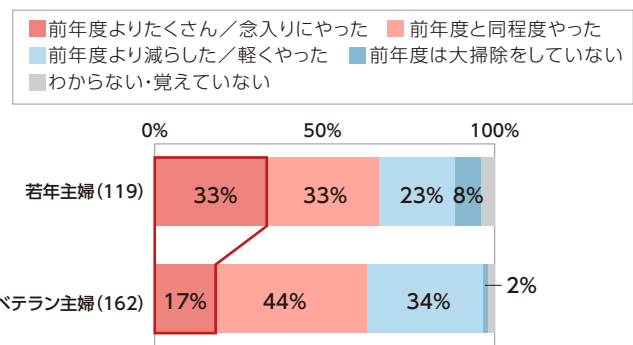
首都圏在住20~60代既婚女性 1,000人(花王調べ)

(図3) 大掃除の実施日数 (大掃除実施者)

大掃除の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて若年が84%、ベテランが89%とどちらも高く、満足度に違いは見られませんでした(図4)。しかし、2012年実施の大掃除と比較してみると、「前年度よりたくさん／念入りにやった」と回答した人は、若年33%、ベテラン17%で若年の方が高く、「がんばった感」が強いことがわかりました(図5)。



(図4) 大掃除の満足度 (大掃除実施者)



首都圏在住20~60代既婚女性 1,000人(花王調べ)

(図5) 前年度との比較 (大掃除実施者)

ベテラン主婦と若年主婦、それぞれの大掃除への「おもい」 普段の掃除は軽く、年末に「まとめて・すっきり」が いまどきのスタイル

ベテラン主婦

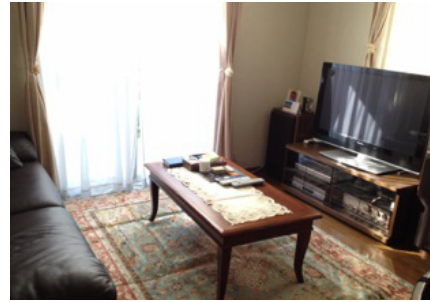


大掃除では、奥まで手が届かない場所や見えなくても汚れていそうな場所を掃除しています。

〇さん(60歳) 主婦歴37年

住居形態：戸建て(築5年)

お部屋の印象：家具・調度品は多いが、隅々まで掃除が行き届いている。



普段の掃除

大掃除

リビング

- 毎日の床の掃除機がけのついでに、ホコリが気になれば照明カバーの周りも吸う
- 窓の内側は手垢が気になったらすぐに拭く

- 照明のカバーを外して内側と外側、蛍光灯の周りも洗剤で拭き掃除
- 普段は手が届かない窓の外側を夫が拭き掃除

キッチン

- ワークトップや天板は、使ったらすぐにキッチン用おそうじシートで拭く
- 油モノが続いたら、換気扇のフードやフィルターは洗剤拭き

- 換気扇は、普段はできないカバーを外してファンも洗った



浴室

- 毎日、浴槽だけでなく、全体を掃除

- 浴室乾燥機のフィルターを外し、内側を洗って中も拭き掃除

トイレ

- 毎日、洗剤やトイレ用おそうじシートを使って全体を掃除

- 大掃除だからって特別なことはせず、普段定期的に行っている換気扇の掃除をするくらい

若年主婦



汚れが見えて目につくけれど、普段は面倒でできない場所を大掃除でやっています。

Tさん(34歳) 主婦歴9年

住居形態：戸建て(築5年)

お部屋の印象：物が少なく、すっきり整頓されている。



	普段の掃除	大掃除
リビング	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎日、床だけ掃除機をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 照明のかさの上側とコードのホコリをハンディタイプのおそうじワイパーで ● 秋口から気になっていた窓の汚れを夫が水拭き
キッチン	<ul style="list-style-type: none"> ● 夕飯の片づけのついでに、油汚れがつく部分は洗剤のいらぬスポンジで拭く ● ワークトップもふきんで毎日水拭き 	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段の水拭きで取れないコンロの油汚れを重曹で拭き掃除 ● 汚れていた換気扇のフィルターを洗い、周りを拭き掃除
浴室	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽の内側は毎日掃除 ● その他の部分は汚れが溜まってからする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日頃から気になっていたカビ汚れを夫が掃除
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ● 便器や床の汚れに気づいたら、汚れだけ拭く・こする(結局毎日) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 便器のすき間のネジを夫がはずして拭き掃除



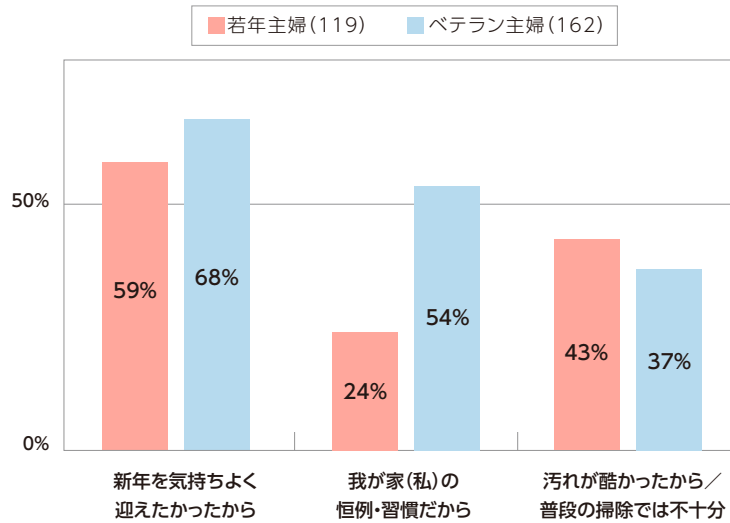
ベテラン主婦は、「毎日使うところは毎日掃除」「真冬にがんばらずに済むように日頃から少しずつ」といった具合に、普段の掃除で室内のさまざまな場所を広範囲にカバーしており、大掃除は、「普段は自分の手の届かない、外から見えない奥の奥を重点的にやること」と捉えていました。

一方、若年主婦は、「普段は水拭きだけ」「この部分だけ」と、普段の掃除範囲が狭くピンポイント化していました。大掃除は、「汚れが見えて気になっているものの、普段の掃除ではキレイにしきれない部分をカバーするもの」という実態が浮かび上がってきました。普段の掃除は軽めに、大掃除でまとめてすっきり落とすのが、いまどきの掃除スタイルと言えます。

変化する大掃除の理由。 普段の掃除の不足分を補う重要な機会に

大掃除をする理由として、「新年を気持ちよく迎えたい」という思いは、どの世代でも共通していますが、ベテラン主婦の54%が「家の恒例・習慣だから」と捉えているのに対し、若年主婦ではその半数以下の24%にとどまりました。一方で、「普段の掃除では不十分だから」が若年主婦では43%とやや高く、大掃除に対する考え方・目的の違いや、世代による「おもしろい」の変化がうかがえます(図6)。

若年主婦にとっての大掃除は、「見える汚れ・たまった汚れ」を残したまま年を越したくないという「おもしろい」から、「今年ためた汚れは今年のうちにとめて落とす」ための重要な機会と位置づけられていました。



(図6) 大掃除の実施理由

首都圏在住20～60代既婚女性 1,000人(花王調べ)

【来客にほめられる「プチ大掃除」のご提案】

自宅でのクリスマスパーティなど、来客が増える季節です。

お客様を迎える前に、プチ大掃除をしませんか？

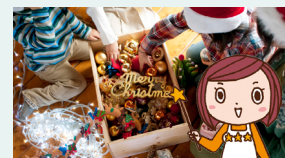
1. 自分がお客様になったつもりで、玄関からリビングなどの気になる汚れをチェック。
2. 掃除前に整理整頓するだけでも印象が変わります。おもちゃや雑誌類は整頓を。
3. “見える汚れ”を中心に、効率よくポイントをおさえて掃除するのがコツ

応援!くらしのキレイ

クリスマスパーティ前のプチ大掃除。

「ほめられ部屋」になる掃除ポイント

<http://www.kao.co.jp/lifei/support/09/>



●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 <http://www.kao.co.jp/lifei/>

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。